

令和6年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	46	学校名	静岡県立藤枝東高等学校	校長名	佐野 文子
------	----	-----	-------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
(1)	学ぶ意欲を喚起し、主体性を伸ばす授業や指導の改善等を進めることで、生徒の学力向上を図る。	「学ぶ意欲を引き出す、学力が向上する授業が行われている」と回答する生徒・保護者 85%以上	「学ぶ意欲を引き出す、学習指導が行われている」と回答した生徒 88%保護者 89%。 「学力が向上する学習指導が行われている」と回答した生徒 93%、保護者 91%。	A	ICT機器を活用したり、グループ活動や探究活動を取り入れた授業を行ったり、工夫した授業を行ってきたりした成果が現れたと思われる。 今後も、新課程で求められている「生徒が主体的に学ぶ授業」を展開すると共に、新課程入試の更なる研究を進め、生徒の学力が向上する授業を実施する。
		公開授業を年間2回以上実施した教員 100% 授業参観を自教科、他教科問わず年間4回以上実施した教員 100%	全教員が公開授業を年間1回以上実施した。 授業参観を年間4回以上実施した教員は 77.2%。	B	授業公開は、管理職の授業参観期間に合わせて全教員が年間1回実施し、複数の教員がその他研究授業等を実施した。 いつでも気軽に授業参観できる雰囲気を作り、全教員が年間4回以上参観する。
		授業においてICTを効果的に活用したと回答する教員 85%以上	全教員が、ICT機器を活用して授業や演習を行った。	A	ICT機器を教員が効果的に活用することで、授業改善を行った。 次年度は、生徒のICT機器の効果的な活用にも力を入れたい。
		「適切な量の課題が出されている」「学ぶ意欲を引き出す、学力が向上する補講が行われている」と回答する生徒 75%以上	「適切な量の課題が出されている」と回答した生徒 85.8%。「学ぶ意欲を引き出す、学力が向上する補講が行われている」と回答した生徒 85%。	A	課題の量については、教科間で調整をして設定をした。 補講については、土曜講習・放課後講習共に、生徒の実態に即した基礎から発展までの講座を用意したことで、生徒の積極的な受講に繋がった。 次年度も、課題の精選、より効果的な補講の提供に取り組む。
		「教科への関心・意欲が高まり学力や技能の向上が実感できた」と回答する生徒 80%以上	「教科への関心・意欲が高まり学力や技能の向上が実感できた」と回答した生徒 79%~90%。	A	ICT機器の効果的な活用や授業改善により、学力の向上を感じる生徒が増えた。 今後も、授業改善に努め、観点別評価の妥当性を検討し、適切な評価に繋げていきたい。
		「8つの力」の伸長が自覚できる生徒 100%	「8つの力」の伸長が自覚できる」と回答した生徒 87%	B	授業や行事の振り返りで「8つの力」の伸長を考えさせた。 より効果的な振り返りをさせて、伸長を自覚させたい。

(2)	生徒が高い志を抱き、その進路実現を果たすための適切な指導を行う。	「志を育む指導が行われている、進路に関する情報が適切に提供されている」と回答する生徒・保護者 85%以上	「志を育む指導が行われている」と回答した生徒 87%、保護者 85%。 「進路に関する情報が適切に提供されている」と回答した生徒 87%、保護者 78%。	B	生徒との面談、模試結果の振り返り、進路指導など、対話による関わりによって「志」は高められている。進路に関する情報については、保護者への情報提供がやや不足していた。 多様化する入試に備えて、生徒・保護者が万全の備えをして受験に臨めるよう、適切な情報を提供していく。
		「進路実現に向けての学力向上、理解向上に役立った」と回答する生徒の割合が前年度より増加する。	「進路実現に向けての学力向上、理解向上に役立った」と回答する生徒の割合が前年度より若干(4%)下がった。	A	昨年度より若干下がったが、放課後講習の満足度は 89%と高く、昨年度から実施している夏期特別講習も好評だった。 生徒の学力や弱点を分析し、満足度の高い放課後講習・夏期特別講習となるよう工夫をし、実施していく。
		100周年記念行事に対する生徒の肯定的な回答 80%以上	100周年記念行事に参加した生徒から肯定的な回答を得た。	A	記念行事の振り返りで満足度の高い肯定的な回答が見られた。 複数年実施予定の記念行事(0B講演や海外研修等)をより良いものにしていく。
(3)	様々な学校行事等における協働を通じて、多様性、国際性、豊かな感性、思いやりの心を育み、人間性を高める。	図書委員による読書推進活動年4回以上。図書館を利用した生徒数が前年度よりも増加する。生徒と教職員による広報誌年間20回以上発行	推進活動4回以上実施。図書館を利用した生徒数が前年度より増加。広報誌20回以上発行。	A	図書委員会が中心となり、イベントの実施や広報誌等の発行を行い、図書館利用生徒数を増やし、生徒が読書に親しむ姿勢を喚起することができた。 新しい図書館のWi-Fi環境や投影環境等を整備し、展示方法等も工夫し、多機能型図書館としてより充実させていきたい。
		「8つの力」の伸長が自覚できる生徒 100%	「「8つの力」の伸長が自覚できる」と回答した生徒 87%。	B	「8つの力」の伸長が自覚できた生徒は高数値だったが100%までには至らなかった。 どう自覚させるかが課題であり、行事等の振り返り方法等を工夫したい。
		参加した生徒の満足度 90%以上	演劇鑑賞教室に参加した生徒の満足度(「大変満足」「まあ満足」の計) 99%。	A	生徒の満足度が非常に高い文化的行事である。 生徒の興味・共感を得る適切な演目や講師を選定し、継続実施していく。
		「部活動に意欲的に取り組んだ、活動内容や時間が適切である」と回答する生徒・保護者 90%以上	「部活動に意欲的に取り組んだ」と回答した生徒 93%、保護者 91%。「活動内容や時間が適切で	A	多くの生徒が、充実した部活動を行っていることがわかる。 中学校が部活動の地域移行を進めていく中、高校での部活動のあり方、活動内容や活動時間等について、検討していく必要が

様式第3号

			ある」と回答した生徒 88%、保護者 84%。		ある。
		校外活動への参加生徒数が前年度よりも増加する	生徒会や JRC 部等が地域社会貢献活動に取り組んだ。	B	委員会や部活動単位中心に、地域社会貢献活動に取り組んだ。より多くの生徒が、意欲的に参加できるような広報や提示をしていきたい。
		参加した生徒の満足度 90%以上	台南の高校との交換留学、アメリカ研修の参加生徒の満足度 100%。	A	台南での交換留学、アメリカ研修共に、満足度が非常に高かった。次年度も継続実施し、国際交流を推進していく。
(4)	社会に主体的にかかわり、正しい行いを通じて、自立した社会性・公共性を身に付ける。	全教職員による街頭（登校）指導実施年3回 自転車による登下校中の事故年20件以下	街頭指導年3回実施。自転車による登下校中の事故件数20件内（15件）におさめることができた。	A	街頭指導や日頃からの交通指導により、事故件数を減らすことができた。 自転車安全指導カードを交付される生徒がいるため、交通マナーの遵守や自転車事故に備えてのヘルメット着用を引き続き呼びかけていく。
		「高校生活について適切に指導が行われている」と回答する生徒・保護者 90%以上	「高校生活について適切に指導が行われている」と回答した生徒 93%・保護者 94%。	A	生徒・保護者共に高い評価を得ている。 挨拶やスマートフォンの適切な利用は改善の余地があり、引き続き指導していきたい。
		生徒の参加数が前年度よりも増加する。	部活動や教科での外部のコンクールや海外研修、イベント等への積極的な参加が見られた。	B	部活動単位での校外活動への積極的な参加が見られた。 校外活動の募集が増えているため、C-learning等を使用し、広報を行い、個人の参加者も増やしていきたい。
		いじめによる不登校及び生徒指導0件 「頼れる先生がいる」と回答する生徒・保護者が85%以上	「頼れる先生がいる」と回答した生徒 93%、保護者 92%。 いじめによる不登校及び生徒指導はなかったが、相談は複数件あった。	A	「頼れる先生がいる」という回答が生徒・保護者共に年々増加している結果は評価できる。 今後も、いじめ等に関する相談には、学校全体で、迅速に、適切に対応をしていき、生徒が安心して学校生活を送ることができるようにする。
(5)		「東高に入学してよかった」と回答する生徒・保護者 85%以上	「東高に入学してよかった」と回答した生徒 93%、保護者 96%	A	生徒・保護者共に高い評価を得た。 今後も、教員のみならず、外部機関との連携を図り、手厚い指導を心掛けていきたい。

	<p>保護者・学校後援会・同窓会・地域等との連携の下、信頼され応援される学校づくりを進める。</p>	<p>「情報を適切に伝えている」と回答する生徒・保護者 95%以上 地域の中学校への訪問年間 3 回以上 報道部生徒によるポスター及び卒業生等出演の学校 PR 動画の作成が実現する。</p>	<p>「情報を適切に伝えている」と回答した生徒 93%、保護者 94%。 地域の中学校へ年間 3 回以上訪問。 学校のポスター、PR 動画を作成し、一日体験入学等で使用した。</p>	A	<p>ホームページやインスタグラムを利用して、学校生活の様子を発信してきたことが、生徒・保護者からの高評価に繋がったと思われる。 引き続き、ホームページ、インスタグラムで、適切に情報発信をしていく。 学校生活の様子が適切に伝わるようなポスターや動画作成を行い、地域の中学校へ発信していく。</p>
		<p>総会や各種行事の出席率 50%以上 「参考になった（良かった）」と回答する保護者 95%以上</p>	<p>PTA 総会出席率は 37.7%だったが、その後の学級懇談会出席率は 59.2%。 進路講演会への評価は、79.1%。</p>	B	<p>総会については平日午後開催ということもあり出席率 50%には及ばなかったが、その後のクラス懇談会の出席率は 59.2%と高かった。 総会の日時や方法について、検討していく。</p>
		<p>100 周年記念行事に対する肯定的な回答 80%以上 「校舎、グラウンド等の施設や設備は適切に整備されている」と回答する生徒・保護者 80%以上</p>	<p>100 周年記念行事に対して満足度が高かった。 「校舎、グラウンド等の施設や設備は適切に整備されている」と回答した生徒 95%、保護者 92%。</p>	A	<p>新校舎への移転、OB 講演や人文字、記念式典などの 100 周年記念行事が数多く開催され、それに対しての満足度が非常に高かった。 新校舎やグラウンド等の施設の更なる整備、複数年の記念事業（OB 講演や海外研修）の更なる充実が今後求められる。</p>
		<p>「来校目的を達成することができて良かった」と回答する来校者 100%</p>	<p>公開授業で 99% が目的を達成できたと回答した。 1 日体験入学も好評であった。</p>	B	<p>生徒によるパネルディスカッションや説明が好評であった。 来年度も生徒が本校の魅力を伝えるような場面を設定したい。</p>
(6)	<p>より良い学習環境の整備充実と安心安全な学校づくりを進める。</p>	<p>「生徒の健康や安全に配慮がされている」と回答する生徒・保護者 95%以上</p>	<p>「生徒の健康や安全に配慮がされている」と回答した生徒 95%、保護者 93%。</p>	A	<p>熱中症予防やインフルエンザ等の感染への対応やSCを含めた教育相談対応などを丁寧に進めた結果が高評価に繋がった。 今後もきめ細やかな対応に心掛ける。</p>
		<p>「校舎、グラウンド等の施設や設備は適切に整備されている」と回答する生徒・保護者 80%以上</p>	<p>「校舎、グラウンド等の施設や設備は適切に整備されている」と回答した生徒 95%、保護者 92%。</p>	A	<p>新校舎への移転が完了し、設備面での評価が高かった。 引き続き、新校舎やグラウンド等の施設や設備の充実化を図り、より良い学習環境の整備を進めていく。</p>
		<p>地域防災訓練の参加率向上 「災害・非常時の</p>	<p>12 月地域防災訓練の参加率 40.7%。</p>	B	<p>本年度は新校舎への移転に伴い、防災計画書の改訂、新避難経路の策定や校内防災訓練、防</p>

様式第3号

	避難方法や連絡方法を承知している」と回答する生徒・保護者 80%以上	「災害・非常時の避難方法や連絡方法を承知している」と回答した生徒 86%、保護者 78%。		災備品の配置替え等を行った。地域防災訓練への参加率は高くなかった。参加率を上げるための方法を検討していく。
	情報セキュリティインシデント未発生	情報セキュリティインシデント発生はなかった。	A	職員の個人端末からのクラウド利用による情報漏洩リスクに対して引き続き注意喚起を行っていく。
	教職員の時間外勤務時間が前年度よりも減少する。	ICTの活用で採点業務等の負担感は減ったが、時間外勤務時間の減少には繋がっていない。	B	百問繚乱の利用により、採点業務は軽減されたが、全体的な業務量が多いため、時間外勤務時間は減っていない。社会全体の価値観の変化もあり、学校に持ち込まれる課題が多過ぎるのが現状である。業務整理を進めていく。
	「校舎、グラウンド等の施設や設備は適切に整備されている」と回答する生徒・保護者 80%以上	「校舎、グラウンド等の施設や設備は適切に整備されている」と回答した生徒 95%、保護者 92%。	A	学校経営予算や維持修繕予算の執行にあたっては、優先順位を付け、教育効果が高いと認められるものから執行した。予算が潤沢ではないため、今後一層予算配分を工夫することが求められる。